

Economic Indicators

発表日: 2023年2月3日(金)

主要経済指標予定(2023年2月6日~2月10日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(2月6日~2月10日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
2月6日 (月)					
2月7日 (火)	8:30 12月家計調査(二人以上の世帯) 実質消費支出・全世帯(前年比)	+0.5%	▲0.2%	▲1.3%~+1.3%	▲1.2%
	実質消費支出・勤労者世帯(前年比)	▲1.7%	▲1.7%	▲3.2%~+0.9%	▲3.1%
	8:30 12月家計消費状況調査				
	8:30 12月家計消費単身モニター				
	8:30 12月消費動向指数				
	8:30 12月毎月勤労統計 名目賃金(前年比)	—	—	—	+1.9%
	14:00 12月景気動向指数・速報 CI一致指数(前月差)	▲0.4pt	▲0.4pt	▲0.5pt~▲0.1pt	▲0.3pt
	CI先行指数(前月差)	▲0.5pt	▲0.3pt	▲0.5pt~+1.5pt	▲1.2pt
	14:00 12月消費活動指数(旅行収支調整済) 実質季節調整済み(前月比)	—	—	—	▲1.3%
2月8日 (水)	8:50 1月貸出・預金動向 国内銀行貸出残高(前年比)	—	—	—	+3.0%
	8:50 12月国際収支統計 経常収支(原数値、億円)	+2,289	+1,060	▲6,269~+4,733	+18,036
	14:00 1月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI(季節調整値)	48.5pt	48.3pt	47.2pt~49.7pt	47.9pt
	先行き判断 DI(季節調整値)	47.6pt	47.8pt	46.5pt~49.5pt	47.0pt
2月9日 (木)	8:50 1月マネーストック M2(前年比)	+2.7%	+2.8%	+2.6%~+2.9%	+2.9%
	M3(前年比)	+2.4%	+2.4%	+2.2%~+2.5%	+2.5%
	広義流動性(前年比)	+3.7%	+3.6%	+3.5%~+3.8%	+3.6%
	13:30 12月特定サービス産業動態統計調査				
2月10日 (金)	8:50 1月企業物価指数 (前月比)	+0.2%	+0.4%	+0.1%~+0.9%	+0.5%
	(前年比)	+9.5%	+9.7%	+9.3%~+10.1%	+10.2%

12月実質消費支出（二人以上の世帯、全世帯） 当社予想：前年比+0.5% 中央値：同▲0.2%

12月も新型コロナウイルスの感染者数は拡大したものの、消費下押し度合いは限定的なものにとどまるとみられる。全国旅行支援の開始といった後押しもあり、サービス消費を中心として10-12月期の個人消費は増加となった可能性が高い。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

12月景気動向指数 CI一致指数／CI先行指数 当社予想：前月差▲0.4pt／▲0.5pt 中央値：同▲0.4pt／▲0.3pt

CI一致指数を前月差▲0.4ポイントと予想する。内訳では、耐久消費財出荷指数がプラスとなる一方で輸出数量指数が大きく落ち込み、全体としては小幅マイナスになったとみられる。CI一致指数はこれで4ヶ月連続の低下となり、基調判断もこれまでの「改善」から「足踏み」へと下方修正される見込み。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

1月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比+9.5% 中央値：同+9.7%

1月の国内企業物価を前年比+9.5%、前月比+0.2%と予想する。前年比での伸びは前月から縮小するものの、電気・ガス・水道の牽引が続くほか、川下製品を中心に価格転嫁の動きが継続したことで前月比プラスが続くだろう。先行きについては、原油相場の一服に加えて、政府支援策の効果により電気・ガス・水道代の伸び率が縮小することで、2月の国内企業物価は前年比+8%台まで切り下げ、その後も縮小傾向が続く見込み。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

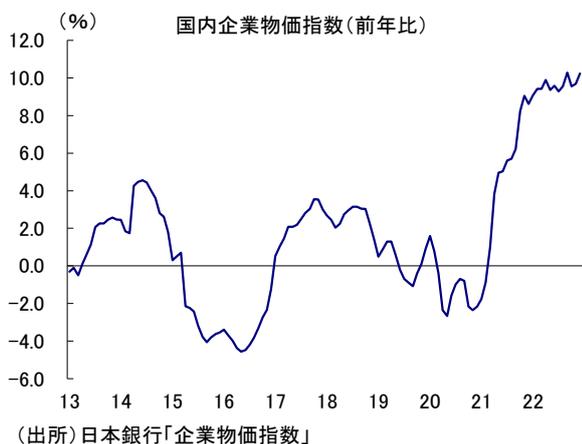
図表1



図表2



図表3



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。